



平成23年5月31日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
代表者名 代表執行役社長 重田 衛
(コード番号 5103 東証第二部)
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦
(TEL. 04-7131-0181)

株式会社ウェッジホールディングスの株式の取得 (子会社化) に関するお知らせ

平成23年5月29日に、債券の担保として質権の設定を受けていた株式会社ウェッジホールディングス(大証JASDAQ市場)の株式について、同質権を実行し、未償還債券残高の回収に充当し、子会社株式として取得することを決定いたしましたのでご報告いたします。

記

1. 取得の理由

当社は、平成22年12月3日に公表いたしました債券の償還につきまして、平成23年5月30日まで資金の回収を進めておりました。(詳細につきましては、平成22年12月3日に公表いたしました「債券の償還に関するお知らせ」をご参照ください。)

平成23年3月31日時点の未償還残高は26億4000万円となっており、今期に入り平成23年4月28日に6000万円、平成23年5月16日に4000万円、平成23年5月25日に8億円、更に平成23年5月30日に3億円と合計4回の入金があり、現時点における未償還残高は14億4000万円となっております。(詳細は平成23年5月25日及び、平成23年5月31日に公表いたしました「債券償還の進捗に関するお知らせ」をご参照ください。)

又、当社は、当該債券の償還を進めるにあたり、当社が資金を回収できなくなるリスクを最小限に抑える為に、現在株式会社ウェッジホールディングスの筆頭株主であるA.P.F.ホールディングス株式会社ならびに第2位株主である明日香野ホールディングス株式会社から株式会社ウェッジホールディングスの株式の提供を受け、譲渡担保権として保有しているA.P.F. GROUP CO., LTD. と当該債券に掛かる担保提供について交渉し、平成22年12月16日付で同社との間で、上記債券等の担保として株式会社ウェッジホールディングスの株式について質権設定契約を締結しておりました。(担保株式数の内訳：A.P.F.ホールディングス101,995株、明日香野ホールディングス11,758株、合計113,753株。発行済み株式の42.09%)

従前より債券発行会社からは償還手続を進めており全額送金する旨の報告を得ており、上記のとおり、債券発行会社からは一定金額の送金を受けておりますが、同償還も当初の期限を相当期間経過したものであり、また、平成23年5月30日現在、全額の回収に至っておらず、未償還残高は14億4000万円となっております。

当社としては債券発行会社の財務内容に照らして未償還に係る債券についても償還可能であることを確認しており、全額回収できるものと考えております。しかし、すでに本年5月28日にお知らせいたしましたように、会計監査人からの指摘を受け、当社監査委員会でも当該債券につき、保守的に見て貸倒引当金を計上することを決定し会社も最終的な判断をいたしました。

当社といたしましては当該決定を重く受け止め、現時点において全額回収日が確定されていないことや、又、早期に当社の資金計画を確定することも重要であるという観点から、現状における最も保守的な判断として、確実に債権回収を図るために上記質権を実行することを決定いたしました。なお、同質権の実行の前提となるA.P.F. GROUP CO., LTD. の上記譲渡担保権は、既に実行の条件を充たしていることを確認しております。また、下記のとおり、本質権の実行によっても未回収債権(未償還債券108百万円、未収利息66百万円、合計175百万)が残るため、

これについては引き続き債券発行会社に対して鋭意支払要求を続けて参ります。(債券回収の最新の進捗につきましては、本日当社が公表いたしました「債券の償還に関するお知らせ」をご確認下さい。)

当社は、上記質権の実行方法として、以下の理由により質物たる株式会社ウェッジホールディングス株式を自ら取得することに決定いたしました。

まず、同株式の発行会社である株式会社ウェッジホールディングスは、本業のゲーム関連事業を始め、アジアを中心とした投資事業において、ここ数年著しい業績改善を果たしており、その株式の資産性は確かなものであることから、実質的には上記債券未償還額等の回収を図ることができるかと認識しております。

もっとも、担保物たる株式は発行会社の発行済み株式の42.09%に及ぶものであることから、価格の下落を防ぎつつ売却をすることは困難であります。加えて、当社の債権回収の観点からは、現時点で売却するのではなく、継続保有の方が合理的と判断しております。

なお、継続保有した場合、同社との資本提携の観点においても、同社の業績の伸張は著しく、同社が注力し成功を収めているアジアを中心とした投資事業は当社の中期経営計画にも適うこと、当社がアジア展開を推進する際に同社が強力なサポートとなること、同社を当社の連結子会社に加えることで当社グループの連結業績の黒字化も十分視野にはいることから、よい相乗効果が生まれるものと認識しております。

以上のとおり、当社は、債権回収の観点から、上記質権の実行方法として、株式会社ウェッジホールディングス株式を自ら取得することとし、これは、事業相乗効果という観点においても当社にとって大きな利益を生み出すものと考えております。

なお、上記継続保有の方針に基づいて、当社は株式会社ウェッジホールディングスに対し、当社が質権実行することを前提として、協議を申し入れ、緊急に且つ精力的に協議をいたしました。その結果、今後の経営方針につき、協力関係を構築することができるかと確信いたしました。また、両社の事業において互いに相互補完的に相乗効果を発揮できることが確認されました。このため、当社は今後、株式会社ウェッジホールディングス株式を長期保有し、子会社化することを決定いたしました。

又、当社は、現時点において既に売買目的有価証券として株式会社ウェッジホールディングスの株式22,884株(発行済み株式の8.47%)を保有しておりますので、今回の取得分を合算いたしますと当社の所有する株式会社ウェッジホールディングスの株式は136,637株(発行済み株式の50.6%)となります。従いまして従来売買目的で保有していた同株式を子会社株式で保有することといたします。

今後は、株式会社ウェッジホールディングスの経営陣と友好的に協議を進め、当社のテニス事業をはじめとしたスポーツ分野での提携及び管理部門の効率化等、両者の企業価値を最大限に高める事業プランを策定して参ります。

(当社とウェッジホールディングスの業務提携の内容につきましては、本日当社が公表いたしました「株式会社ウェッジホールディングスとの業務提携に関する覚書締結についてのお知らせ」をご参照ください。)

2. 異動する子会社（株式会社ウェッジホールディングス）の概要

(1)	名称	株式会社ウェッジホールディングス		
(2)	所在地	東京都中央区日本橋本町1-9-4		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 田代 宗雄		
(4)	事業内容	コンテンツの作成、投資及びファイナンス事業		
(5)	資本金	1,939百万円		
(6)	設立年月日	平成13年10月31日		
(7)	大株主及び持株比率	A. P. F. ホールディングス(株) 41.12% 明日香野ホールディングス(株) 16.43%		
(8)	上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。	
		人的関係	当社取締役1名が当該会社の取締役を兼務しております。又、当社取締役1名が当該会社の監査役を兼務しております。	
		取引関係	当社子会社と当該会社との間にて、スポーツ用品販売用パンフレットのデザイン等のコンサルティング契約を締結しております。	
(9)	最近3年間の経営成績および財政状況（単位：百万円）			
	決算期	平成20年9月期	平成21年9月期	平成22年9月期
	連結純資産	1,380	3,800	5,491
	連結総資産	2,521	7,882	10,065
	1株当たり連結純資産（円）	20,136.54	13,757.62	16,094.49
	連結売上高	2,139	2,417	3,699
	連結営業利益	62	137	802
	連結経常利益	146	322	761
	連結当期純利益	81	204	369
	1株当たり連結当期純利益（円）	1,188.64	1,673.25	1,597.52
	1株当たり配当金（円）	—	100	100

3. 株式取得の相手先の概要

(1) A.P.F. ホールディングス株式会社

(1) 商号	A.P.F. ホールディングス株式会社	
(2) 所在地	大阪府松原市天美南四丁目7番25号	
(3) 代表者の役職・氏名	此下 益司	
(4) 事業内容	M&A、M&Aの助言・仲介、経営に関する支援・サポート、金融商品取引法に基づく第二種金融商品取引業、金融商品取引法に基づく投資助言・代理業、金融商品取引法に基づく適格機関投資家等特例業務等	
(5) 資本金	3,000千円	
(6) 設立年月日	平成19年4月19日	
(7) 純資産	3,166千円	
(8) 総資産	1,580,671千円	
(9) 大株主および持分比率	此下 益司 (100.0%)	
(10) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	当該会社は、当社の発行済み株式の10.64% (500万株) を保有する株式であります。
	人的関係	取締役の1名が当社の取締役を兼務しております。
	取引関係	該当はございません。
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の発行済み株式の10.64% (500万株) を保有する主要株主であり、関連当事者に該当いたします。

(2) 明日香野ホールディングス株式会社

(1) 商号	明日香野ホールディングス株式会社	
(2) 所在地	大阪府大阪市生野区巽北四丁目14番8号	
(3) 代表者の役職・氏名	此下 益司	
(4) 事業内容	M&A、M&Aの助言・仲介、経営に関する支援・サポート、金融商品取引法に基づく第二種金融商品取引業、金融商品取引法に基づく投資助言・代理業、金融商品取引法に基づく適格機関投資家等特例業務等	
(5) 資本金	250,000千円	
(6) 設立年月日	平成19年4月16日	
(7) 純資産	273,547千円	
(8) 総資産	2,745,478千円	
(9) 大株主および持分比率	此下 益司 (100.0%)	
(10) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	当該会社は、当社の発行済み株式の31.94% (1500万株) を保有する株式であります。
	人的関係	取締役の1名が当社の取締役を兼務しております。
	取引関係	該当はございません。
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の31.94% (1500万株) の株式を所有する主要株主であり、関連当事者に該当いたします。

4. 取得株式数、取得価格及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	22,884株 (議決権の数 : 22,884個) (所有割合 : 8.47%)
(2) 取得株式数	113,753株 (議決権の数 : 113,753個) (所有割合 : 42.09%) (取得価格 : 1,331百万円)
(3) 異動後の所有株式数	136,637株 (議決権の数 : 136,637個) (所有割合 : 50.6%)

*取得価格につきましては、昨今の株式会社ウェッジホールディングス株式の株価の動向を勘案し、6ヶ月間終値平均株価を採用いたしました。

5. 日程

(1) 業務提携に関する覚書締結	平成23年5月29日
(2) 執行役会決議	平成23年5月29日
(3) 株式取得日	平成23年5月30日

5. 今後の見通し

株式会社ウェッジホールディングス子会社化により、当社の業績に影響を与えることが想定されますが、現段階ではその影響額を把握できておりませんので、今後確認が取れ次第ご報告いたします。

以 上